

# 視点

## 民間金融機関との連携



日本政策金融公庫  
国民生活事業本部  
北関東地区統轄

いい じま しげ はる  
**飯島 茂春氏**

### プロフィール

昭和 58 年 3 月

明治大学法学部法律学科 卒業

昭和 58 年 4 月

国民金融公庫（現 日本政策金融公庫）入庫

平成 14 年 7 月

情報システム部事務指導課長

平成 17 年 7 月

仙台支店総括室長（東北地区担当）

平成 19 年 3 月 高田支店長

平成 20 年 7 月 創業支援部専門

審議役

平成 22 年 4 月 明石支店長兼国

民生活事業統轄

平成 24 年 4 月 土浦支店長兼国

民生活事業統轄

平成 26 年 10 月 東大阪支店長兼

国民生活事業統轄

平成 29 年 4 月 現職

今年も 6 月 1 日に採用選考活動が解禁となり、多くの学生さんとお会いしました。売り手市場といわれるなかではありますが、学生さんは熱心に企業研究を行い、面接に臨んでおられた姿には好感が持てました。志望動機を伺うと、創業支援、事業再生、ソーシャルビジネス支援など多岐にわたり、いわゆる成長戦略分野に関わる仕事に携わりたいというものが多く見受けられました。

この時期が来るたびに、今から 30 数年前の就職活動の頃を思い出します。当時、中学生の頃からの夢であった教職員との選択で悩んだ時期がありました。そうしたなか、公庫への決め手となったのは、日本全国に支店があり、転勤によって多くの地域を知ることができ、職場内のみならず、連携機関をはじめ、数多くのお客さまと出会う機会があり、刺激を受け、自身を高めるには最適と思ったからです。また、実家が果実小売業を営んでいたこともあり、自分は跡を継がないが中小企業、小規模事業者の方々のお役に立ちたいという思いから入庫しました。まだ、途上ではありますが、これまで、民間金融機関をはじめ、商工会議所・商工会、生活衛生団体、税理士などの連携機関の皆さまから種々、ご指導を賜り、職場の仲間と切磋琢磨しながら、政策金融の的確な実施にやり甲斐を感じています。

さて、日本政策金融公庫（以下、「日本公庫」という。）は、平成 20 年 10 月 1 日に国民生活金融公庫、中小企業金融公庫及び農林漁業金融公庫の 3 つの公庫と国際協力銀

